

殺菌剤

カナメ[®]フロアブル

インピルフルキサム…………… 37.0%

種類名／インピルフルキサム水和剤
 農林水産省登録／第24265号(住友化学登録)
 毒性／劇物
 有効年限／5年
 包装／125mℓ×40

特 長

- 幅広い病害に優れた防除効果を示すSDHI殺菌剤です。
- 浸達性、浸透移行性を有します。
- 多くの作物で収穫前日まで使用が可能です。

適用病害と使用方法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用病害名	希釈倍数	10a当たり 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法	
か ん き つ	灰色かび病	4000～ 8000倍	200～700 ℓ	収穫前日まで	本剤 3回 インピルフルキサム剤 3回	散布	
	黒点病 そうか病						
り ん ご	黒星病 すす点病 すす斑病 斑点落葉病 うどんこ病 褐斑病 黒点病 モニリア病 赤星病	4000倍					
	な し	黒星病 赤星病					4000～ 8000倍
		黒斑病 輪紋病					4000倍
	も も	灰星病					4000～ 8000倍
		黒星病 うどんこ病					4000倍
ネクタリン	灰星病	4000～ 8000倍					
小粒核果類	黒星病 すす斑病(うめ) 灰星病	4000倍					
お う と う	灰星病						
ぶ ど う	黒とう病 さび病 うどんこ病 褐斑病						
	灰色かび病	4000～ 8000倍					
か き	うどんこ病 灰色かび病 落葉病	4000倍					

(つづく)

作物名	適用病害名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
麦 類	雪腐小粒菌核病	2000～ 4000倍	60～150 ℓ	根雪前	本剤 2回 インビルフルキサム剤 4回	散布
	赤さび病	4000～ 8000倍		収穫7日前まで	〔根雪前は2回、 根雪後は2回〕	
	うどんこ病					
にんじん	斑点病			本剤 3回 インビルフルキサム剤 3回		
きゅうり	うどんこ病 菌核病 灰色かび病					
トマト ミニトマト	うどんこ病 灰色かび病 菌核病 葉かび病 すすかび病			本剤 4回 インビルフルキサム剤 4回		
ブロッコリー	菌核病 黒すす病					
結球あぶらな科 葉菜類(はくさい、 キャベツを除く)	菌核病					
はくさい	菌核病 尻腐病			本剤 3回 インビルフルキサム剤 3回		
キャベツ	菌核病 株腐病					
レタス類	灰色かび病 菌核病 すす枯病	4000倍	100～300 ℓ	収穫前日まで		
さやえんどう	菌核病 灰色かび病 さび病					
豆類(種実、た だし、あずき、 そらまめ、だい ず、らっかせい を除く) 豆類(未成熟、 ただし、さやえ んどう、未成熟 そらまめを除く)	菌核病 灰色かび病				本剤 4回 インビルフルキサム剤 4回	
あずき そらまめ 未成熟そらまめ	菌核病 さび病 灰色かび病					
だいず	白絹病					株元散布
	菌核病 灰色かび病					散布
ばれいしょ	黒あざ病	400倍	—	植付前	本剤 1回 インビルフルキサム剤 4回 〔種いもへの処理は 1回、植付後は3回〕	種いも 瞬間浸漬
	夏疫病	4000倍	100～300 ℓ	収穫前日まで	本剤 3回 インビルフルキサム剤 4回 〔種いもへの処理は 1回、植付後は3回〕	散布

(つづく)

作物名	適用病害名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
たまねぎ	灰色かび病 小菌核病	4000倍	100～300ℓ	収穫前日まで	本剤 4回 インピルフルキサム剤 4回	散布
	灰色腐敗病	4000～ 8000倍				
ねぎ	さび病					4000倍
	白絹病					
	黒腐菌核病					
いちご	うどんこ病 灰色かび病	4000倍				散布
	白さび病		4000～ 8000倍			
きく	白さび病	4000～ 8000倍	発病初期	本剤 3回 インピルフルキサム剤 3回	15分間 球根浸漬	
チューリップ	皮腐病 葉腐病	100～ 200倍	—	植付前		本剤 1回 インピルフルキサム剤 1回
りんどう	黒斑病	4000倍	100～300ℓ	発病初期	本剤 3回 インピルフルキサム剤 3回	散布

使用にあたって

■使用上の注意

- 使用前によく振ってから使用してください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節してください。
- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布してください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合には、使用者の責任において事前に葉害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■毒



- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。かかった場合3日間は給桑しないでください。

■水産動植物への注意

- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 浸漬後の薬液は、河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

■安全使用上の注意

- 医薬用外劇物ですので取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当てを受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当てを受けてください。



- 使用の際は防護マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。

- 施設内で使用する場合、窓等を開放し十分に換気してから施設内に立ち入るようにしてください。

■貯蔵上の注意

- 密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、鍵のかかるなるべく低温な場所に保管してください。